

かべ新聞

第 21 号

2010年
12月21日

J R 東海労働組合
新幹線地方本部
東京車両所分会

12月18日（土）健康診断に指定されたが・・・？！

12月18日交検車両所では、全くふざけた許されない事態が起きました。交検車両所は、18日・土曜日にもかかわらず交検稼働日で出勤でした。その日に、会社の指定する健康診断のため、交検の本来業務から『工具』に指定された組合員がいました。本人は、健康診断のため前日の晩酌はひかえ、万全な体調で出勤しました。しかし、土曜日で健康診断は実施されていませんでした。

健康診断が実施されない事に対して、組合員に一言の謝罪もなく、あげくに事情聴取と始末書の強要です。まさに、『踏んだり蹴ったり！』です。

相互チェック時での『赤チョークが無い！』との事で『時系列等報告書』と『始末書』の強要！！

問題にされたのは、12月13日の交検作業での『相互チェック』の事です。特修班が作業を行っていたため、その作業の邪魔にならないよう『突き上げ確認・赤チョークでのチェック』をせずに次の箇所へ移動しました。

C担当は、チェック表のその箇所に『特修作業中』と記し、チェックの「レ」点は入れませんでした。特修班もその機器を開けていないのでチェックされていません。これで、午前中に事情聴取と時系列等報告書の記載、さらに始末書まで強要されたのです。組合員は、始末書については当然お断りしました。

午後にはC担当までもが事情聴取されています。今回の様な事象は、百歩譲っても「口頭での注意喚起」で十分だと考えます！ 皆さんはどう思いますか？

交検社員の『個人情報』は大丈夫なのだろうか！？

そもそも、今回の健康診断に関して前段から大問題がありました。

今回の健康診断は、交検社員では「アスベスト（石綿）の特殊検査」「生活習慣病等」での受診が必要とされた社員です。

11月には驚く事に受診理由（「生活習慣病」「アスベスト」等）の記された交検全社員名の記載された一覧表がレターケースに配布されていました。その名簿を見れば「アスベスト検査の人」「生活習慣病の人」等が一目瞭然です！社員からは「自分が生活習慣病だという事が広がり不愉快だ！」「個人情報の保護という観点がない！」等の怒りの声が多く上がっていました。社員の抗議で回収したようですが、全て回収されたかは明らかにされていません。

さらに、12月1日三島で実施された『総合事故復旧訓練』では、「えっ！あの偉い管理者が？！まさか・・・」と耳を疑うような事があったらしい？！との報告も分会に届いています。事実だとすれば大問題です！

私たちがやれば、間違いなく即刻『処分』でしょう！

これらの事を隠蔽し『チョークチェック抜けで始末書』ではたまりません！！